

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年											2024年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~6日	10月 ~13日	10月 ~20日	10月 ~27日	11月 ~3日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	15	12	8	15	12
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	23	12	10	4	9
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	0	0	0	1
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	4	1	5	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	1	1	1	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	2	4	3	3	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	0	0	1	0 (1)	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第44週(10月28日~11月3日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4		1		1	1		1
三類	13	腸管出血性大腸菌感染症	13			1		1		11
四類	5	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	4		2			1		1
五類	17	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	1				1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	7	1		1		2	1	2
		百日咳	4					4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 マイコプラズマ肺炎

定点当たり9.17人の報告があり、増加傾向が続いています。発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられ、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり0.58人の報告があり、前週と比べて増加しました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 百日咳

4件の報告があり、今年の累計は27件となりました。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.67人の報告があり、前週と比べてやや減少しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減	
												急増減	増減
インフル	インフルエンザ	21	0.58	4.45	急増	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.36	急増	急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	24	0.67	0.67	急増		流行性耳下腺炎	-	-	0.05	増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	0.25	急増	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	急増	急増減	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	咽頭結膜熱	6	0.26	0.47	急増		流行性角結膜炎	6	0.75	0.28	急増	急増減	急増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	2.04	1.62	急増	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	急増	急増減	急増減
	感染性胃腸炎	80	3.48	2.94	急増		無菌性髄膜炎	-	-	-	急増	急増減	急増減
	水痘	4	0.17	0.14	急増	マイコプラズマ肺炎	55	9.17	0.03	急増	急増減	急増減	
	手足口病	25	1.09	0.80	急増	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	急増	急増減	急増減	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.12	急増	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	急増	急増減	急増減	
	突発性発しん	3	0.13	0.27	急増								

急増減: 前週と比較しておおむね1:2以上の増減  
 増減: 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減  
 微増減: 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減  
 横ばい: ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	88	80歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	26	10歳未満・O157
4	レジオネラ症	1	20	60歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	7	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	10歳未満
5	梅毒	2	142	30歳代、60歳代
5	百日咳	4	27	10歳未満・3人、30歳代・1人